

令和 7 年度第 2 回港北高校学校運営協議会 議事録

1 開催日時 令和 7 年 11 月 17 日（月）15 時 50 分～16 時 50 分

2 資料

学校評価報告書（中間まとめ）

3 協議内容

【各グループからの報告】

○学習支援グループ

科目選択の説明会や資料の充実を図るとともに、DX 化を進めていく。

○生徒支援グループ

- ・基本的な生活習慣や規範意識を高めようということを目指している。
- ・「かながわ子どもポートドック」の2回目を実施し、先週の金曜日（11 月 14 日）に、校内でスクールカウンセラー（以下 SC とする）とスクールソーシャルワーカー（以下 SSW とする）も入り、研修を行い、情報を共有した。
- ・「かながわ子どもサポートドック」については、正確に回答しない生徒が少数だがいることが課題である。
- ・SSW からは、サポートドックの結果から居場所が少ないことや安心できる家庭環境ではないのでは、という疑いを発見できるため、そのような生徒になるべく早めに手を打つようにしているという話があった。
- ・問題行動については平成 28 年に策定した運動指針がそのままなので大幅に改定中である。
- ・全県的に SNS による犯罪が校内でも起きているという問題があり、県からも注意喚起がでている。スマホを用いた盗撮などが普通に可能になっており、生徒指導においても、新たな犯罪に近い行為を想定しなければならない。来年度から新たな指針で施行していく。

○開発・広報グループ

- ・授業力向上研修は、研究指定校ではなくなっても継続して取り組んでいる。今年度は、年 5 回の研修会を実施。第 2 回授業力向上研修では、AI や chatGPT 等をどのように授業に活用できるかの検討も行った。第 3 回では、研究授業に向けた検討会、第 4 回には研究授業を行った。第 5 回では次年度に向け、新たな授業テーマを決定する予定である。
- ・「探究的な学習の時間」のプログラムについては、各学年、前年度のものを踏襲するわけではなく、毎年、調整・改善しながら各学年でより良い探究プログラムを模索しながら取り組んでいる。
- ・課題・改善方策としては、地域イベントやボランティア活動を充実させ、地域社会と関わる機会を拡大していきたい。今年度は、1 年生が小学生との交流イベントを準備中（地域貢献デー：清掃活動から交流型に変更）である。また、ホームページでは部活動や学校行事の更新頻度が少ないことや、見づらいという点を改

善できるよう、ICT 支援員とどのような HP が見やすいか模索中である。

○進路支援グループ

- ・進路指導において、本校は「4 年制大学進学を基本とした進路指導」を軸に、本校のステップアップに繋がる年間計画に取り組んでいる。
- ・大学入試制度は毎年のように変化しているため、最新情報を踏まえて生徒に指導している。特に、今年度から共通テストの出願方法が変わり、生徒が不安になりやすいため、丁寧な説明とサポートを行っている。

○活動支援グループ

- ・6 月の体育祭では、太尾小学校と連携し、玉入れて交流するなど、コロナ以前の活気ある体育祭にもどりつつも、新しい取組が生まれた。
- ・文化祭については、体育館が改修工事中であったため、後夜祭のメイン会場をグラウンドや中庭に設定し、生徒主体で企画を進め、大変盛り上がる催しとなった。2 日間でおおよそ 5,000 人が来場した。最後には、打ち上げ花火を実施することもできた。
- ・11 月上旬に生徒会役員選挙が行われ、新体制での活動に今後とも期待したい。
- ・部活動については、全県的に実施する部活動一斉調査を行い、結果を分析中。入部状況や部活への思いなど、概ね良好。職員会議等で情報共有し、次年度に向けた課題等の検討をしていく。

○管理運営グループ

- ・教育環境の整備と校内のネットワークや ICT 関係を担当している。ICT 支援員のサポートもあり、授業中の ICT 活用も進んでいる。
- ・教員用端末は Windows11 に更新し、入学者選抜業務に向けた環境整備も進めている。
- ・オフィス改善事業により、机の更新や導線の整備を行った。しかし、教材が増え続け収納が不足するなどの課題も残っており、さらなる改善が必要な状況。
- ・個人情報保護に関して、ICT 支援員を講師として事故防止のための研修会を実施。民間での個人情報保護の状況などをお話いただいた。入学者選抜に向け、引き続き事故防止に努めていく。

4 質疑、意見交換等（○委員からの発言）

○探究の授業については生徒によって「温度差」が出るかと思うが、特に 3 年生では「やらされている」のか「主体的に取り組んでいる」のか。

- ・2 年生は、自分で決めたテーマに基づく個人探究で、プレゼンテーションに向け、興味をもって楽しそうに取り組んでいる。
- ・3 年生は、進路活動との兼ね合いで、取組が難しいところもあるが基本的に主体的に取り組んでいる。やらされている感じはない。
 - ・1 年生は、人文、自然、社会のそれぞれの科学分野について学んでいる。自然科学では実験をやっているので実験のレポートの作り方について学んでいる。
 - ・自分だけでは課題文章の読み取りや論じ方がわからないので評論の作品を読み、

論じ方を学んでいる 社会に入ってから探究の考え方は大事になってくるので長い目で見守っていきたい。

○・探究で『生徒の発表の力』がついてきているのか。

- ・PDCAを回していくことを職員が意識してやっているのはわかる。それを生徒の方にも意識させ、生徒とともに回していくことが必要。
- ・「サポートドック」の結果を職員間で共有できているのか。個人への対応、SNS等の指導をちゃんとしているか。SNSは対応をしっかりとやってほしい。
- ・花火は金井高校でもやっていて評判になっている。港北でも続けるのか。文化祭においてPayPayで支払いをやっている学校もあるが、港北高校はどうか。
- ・職場環境で自分の机の上にもものを置かないように等の指導があるのか。

→・特に本校の生徒のモチベーションが低いと感じることはない。生徒は資料作成や発表がうまく、小学校や中学校でプレゼンテーションの訓練がされているのだと思う。

- ・一方で思考力探究力において、深掘りをさせた時、生徒が自身の偏見に気付いていないと感じることもある。教員は探究の授業を通して生徒自身の思考の偏りに気付かせている。
- ・本校ではサポートドックの結果を担当やSCやSSWを中心にチェックし、問題のありそうな生徒をピックアップし、SSWやSCにつないでいる。サポートドックはクラウドサービスを使って実施しており、生徒所持の端末から回答できる。全県的に実施、情報が漏洩しない形で結果をSC、SSW等がチェックをし、担任と共有している。
- ・体育館が使えないことから何かできないか。ということで花火の実施につながった。地域の方々へ、HPや住民への回覧で周知したが、苦情もあった。鶴見川沿いを犬の散歩をしていたら急に花火があがり、犬がびっくりしたという内容だった。
- ・生徒の反応は予想以上によかったが、地域の方々の理解がなければ実施は難しいため、何かよいアイデアがないか検討している。
- ・キャッシュレスの面では、本年の文化祭ではPTAと売店のみ現金を使えるようにしたが、他は電子マネー決済を導入した。電子マネー決済の業者の方にも来てもらい昇降口で2日間待機していただき、問題に対応していただいた。現金よりも多少時間がかかることが課題、中庭の食品販売に関しては機械を2台にするなど対策が必要だと感じた。
- ・オフィス改善については、現在全県的にやっている事業。
- ・「机の上に物を置かない」ということに関しては、個人ロッカーを設置しているものの、教材が多くあり、また、教材室が近くにならないため、課題はある。本校は先行して実施。現在、衛生委員会から職場アンケートを実施しており、今後の改善に繋げていきたい。

○地域イベントと子育て支援拠点での地域への開放行事においてボランティアを募集したところ、調理部の学生が助けてくれて素晴らしかった。学生有志が25名参加してくれた。夕食を囲む会等などを行い親子の居場所をつくっており、そのような場で、

親だけに子育てを担わせない、学生も産み育てることを体感してくれている協働の場になっている。これからも地域として連携を強化していきたい。

- ・思考を注力するという話があったが自己覚知について具体的手法について教えてください。

→個別の探究で個人のシートを使い、調べ学習にならないように、その先に持っていきたいと考えている。生徒は仮説の立て方も知らない。例えば「ゲームはなぜ面白いのか」という問いを立てるが、面白いと思わない人もいることに気づかないという視野の狭さに気付かせている。

教員がわから言くと大人の視点、大人の言葉になってしまうので生徒同士で話し合わせ、同世代で共有させる中で気付かせていきたい。

- 1年間の目標と4年後の目標が同じ言葉で書かれていて、わかりにくい。進捗状況が文字なので見づらい。○や△または5段階評価でもよいのではないか。中間評価と年間評価があると見やすいのではないか。グループごとの目標にしていけないのはなぜか。評価の中に数字があるとわかりやすい。HPの更新率に関しては実績率が数字だとわかりやすいのでは。

実際に生徒が主役なので方針に対して生徒からのヒヤリングはあるか。4年間の目標は県から定められているのか。

→・生徒による授業評価や、行事ごとにアンケートを行っている。目標は、日頃から生徒の意見を聞きながら、港北独自の目標を作っている。学校運営協議会を開催することで、意見をいただくこともできる。意見は学校経営に反映させていきたい。

- PTAをやっているので生徒自身が何を考えているか知りたい。生徒会と話してみたい。生徒会が目標をどう考えているか聞いてみたい。

- 思港祭に参加した。体育館が使えなくて大変だと思ったが、色々工夫してやっていて港北生はすごいと思った。何かができないとなったときに考えてやっていてできないならもっと楽しいことをやろうよと変換してやっていて素晴らしい

- 他校でも評議員をやっており、先日学校運営協議会に出席したところ、港北高校の卒業生が教員となって出席していた。とてもよく発表していた。(運営協議会開始前に)授業を見たが、ICTが使われており、生徒もうまくやっている。

- 学校だけで解決できないことを学校運営協議会は教育委員会に提言できるので、改善点など話し合いながらしっかりやっていきたい。

5 その他

次回3回目は3月上旬に行う予定。

学校関係者評価については、1年間のまとめとなる。引き続きご意見等をいただきたい。

以 上